

# 進路だより‘一期一会’

## ～ 第1回実力テスト さて結果は？ ～

実力テストの結果が返却されましたね。自分の結果を見て、どう思いましたか。“思ったよりも、よく出来てたなあ。”でしょうか。それとも、“こりゃ、悲惨だわ。”かな。

実力テストそのものは、入試の合否を決定するものではありませんし、学校の成績に入るものでもありません。じゃあ、何のためにするのでしょうか。以前にも‘たより’でお話したように、‘今まで習ってきたことをどの位理解しているのか’を確認するためであり、‘実際の入試を想定して、5教科でどの位の点数を取れるのか’ということについて、回数を重ねることで、その推移を見ながら進路指導をするための資料にするためでもあります。



実力テストは、中間・期末テストとは少し違って、テスト範囲がはっきりしているようでしていないところがあって、‘どこを、どのように勉強したらいいんだろう’って思っている人も結構いるんじゃないかと思います。文字通り‘実力’テストなので、今まで習ってきたことを、テストによって‘理解できてるかどうか’確かめるということになります。今まで、何度も言ってきましたが、テストは、高い得点を取るためにするのではなく、習ったことを全て理解して、覚えていれば、自ずと満点になるんです。でも、実際は、そう簡単にいきません。人間は、忘れる動物です。みんながみんな、全てのことを覚えられるわけではありません。だからこそ、まずは、‘基礎をしっかりと固めておくこと’そして、‘繰り返し何度もすること’が大切です。それをするには、時間が必要です。如何に限られた時間の中から、その時間を捻出するか、ということを一度考えてみて下さい。一日の時間の中で、案外、うまいこと使えば、効果的に勉強できる時間ってあるものですよ。だまされたと思って、一度、考えてみて下さい。短い時間で、大きな効果が現れる方法が、きっとありますよ。

“シュートク”は、その効果的なものの一つだと、私は、確信しています。



## ～ ‘あなたの質問に答えます！’コーナー～

もし、受験(受検)に前期も後期も合格しなかったら、就職ですか。  
受験(受検)に全部落ちても、高校には入学できるのか。

まず、みんなが受験(受検)できる機会を、時間(月日)の流れで説明しておきたいと思います。12月になると、一部**私立高校で入学試験(推薦入試)**が行われます。年が明けて、1月(中旬から下旬にかけて)になると、みんながよく知っている**私立高校の試験**が連日のように続きます。それが終わって、2月の始め(例年、6、7、8日位)に三重県立高校の**前期選抜学力検査**が行われます。2月の下旬には、**高等専門学校の試験**が行われます。3月(例年10日前後)になると、三重県立高校の**後期選抜学力検査**が行われます。

これで、一区切りつくような形になるのですが、後期選抜で、合格がもらえなかった人も当然、出てきますよね。その人たちは、どうなるのか。それが、上の質問ですよね。

この時点で、すでにどこか私立高校が受かっていて、入学できるように手続きがしてある人は、そちらに行くか、次の方法を取るかの決断をすることになります。その次の方法とは、この後行われる**‘再募集’**を受検するという方法です。‘再募集’とは、後期選抜が終わって、募集定員に達しなかった科のある高校が、もう一度募集をするものです。ですから、定員に満たなかった学校しか受けることはできないということになります。ただ、まだ高校へ行くチャンスはあるということです。自分の希望の高校とは違うかもしれませんが。そして、この‘再募集’にチャレンジしてもダメだったという場合は、さらに**‘追加募集’**という方法があります。ただ、この場合は、‘全日制’の高校の募集はなく、‘定時制’と‘通信制’の高校のみになります。こういう流れですが、例年、後期選抜が終わった段階で、結果的に、ほぼ全員どこかに進路が決まっているので、就職するという人はいないのが現状です。

みんなにとっては、受験(検)は初めてのことで、不安に思ったり、戸惑ったりすることは当然です。これから先も、どんどん不安になることが出てくるかもしれません。そんな時は、まず、担任の先生に相談して下さい。以前にも書きましたが、進路に関することは、3年生の先生は、共有していますから、みんなで考えて、アドバイスをしていきます。3年生のみんな一人ひとりの進路をよく考えて、希望を持って卒業していけるようにしたいと思っています。途中であきらめることなく、最後まで、いっしょに頑張ってください！